

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和5年11月29日(水)午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙参照
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	公開済み
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名(主な 発言要旨)	別紙のとおり
提出資料	別紙のとおり
その他	

令和5年度第3回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和5年11月29日(水) 午後2時～午後3時15分

場 所 保健センター 1階 大会議室

出席委員 13人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 妹 尾 和 子 委員

委 員 太 田 篤 胤 委員 井 上 正 子 委員 北 脇 理 恵 委員

委 員 服 部 聡 委員 高 橋 健太郎 委員 保 谷 匠 委員

委 員 長谷川 郁 子 委員 大 澤 秀 典 委員

欠席委員 3人

委 員 横 山 英 史 子 委員 松 本 祐 子 委員

委 員 大 石 和 孝 委員

---

事務局職員

健康課長 伊 藤 崇

健康課係長 永 井 桂

健康課主任 近 藤 仁 美

健康課主事 高 橋 雄 大

---

傍 聴 者 0人

(午後2時 開会)

○山岸会長 では、少し早いですが、始めたいと思います。皆さん、こんにちは。

それでは、本日は、お忙しいところを御出席いただきありがとうございます。

それでは、これより令和5年度第3回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

初めに、委員の出欠に関して、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 本日の委員の方々の出欠でございますが、横山委員、松本委員、大石委員からは欠席の連絡をいただいております。現時点では、長谷川委員がお見えになっていないのですけれども、長谷川委員が来ていれば12名、そうでなければ11名ということで、過半数以上の出席となっておりますので、審議会として成立することを御報告いたします。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。本日、机上に配布させていただいたものとして、次第、名簿、前回の会議録案です。それから、令和4年度の進捗状況調査結果、A3のものであります。それから、閲覧用の第4次食育推進計画、この水色の冊子です。あとは、カラーの食育ホームページのチラシになります。

お手元に資料がない方はいらっしゃいますでしょうか。大丈夫ですか。過不足等ございましたら、途中でも事務局のほうにお願いいたします。また、水色の第4次食育推進計画の冊子については、終了後、机上に置いたままにしてください。よろしく申し上げます。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、議事に入る前に、事前に皆様のところへ送付されている前回の議事録案で、御自身の発言内容を確認していただきたいと思っております。訂正された方は、訂正どおりになっているか確認していただきたいと思っております。

確認のほうは、よろしいでしょうか。もし、この会議録案でよろしい方は挙手のほうをお願いします。

( 挙 手 )

○妹尾委員 ちょっといいですか。

自分の発言ではないのですけれども、28ページの真ん中あたり、事務局の「分かりました」という発言のところなんですが、「かがみの」とは、どういう意味なのでしょう。意味がよく分からないのですけれども、28ページの中央です。

○山岸会長 「明記されていないので」で、その次に続くという、この「分かりました」でしょうか。

○妹尾委員 ええ、そこに「かがみの」とあります。

○事務局 「かがみ」という意味のことですね。「かがみ」というのは表紙のことです。その資料の表紙が「かがみ」というんです。

○妹尾委員 それは、皆さんは通じるんですね。一般の市民の方に。

○事務局 皆さん、いかがですか。

○妹尾委員 私は初めて聞いたので、ちょっと分からなかったのですけれども。そんなに一般的な言い方なんですね。

○松嶋副会長 かがみ文とかは使いますけれども、あまり表紙のことを「かがみ」とは、私は使わないです。

○妹尾委員 出版関係の仕事をしていますけれども初めて聞いたので、皆さん御存じなら、そのまま大丈夫かと思えますけれども。

○山岸会長 行政用語になるんでしょうか。この「かがみ」というのは、どう……。

○事務局 ここは「かがみの」となくても、皆様の名前が書いてあるところというので、1ページ目というところで分かるかなと思うので消してしまっても、分からないようであれば消してもいいかなと思えますけれども、どうでしょうか。

○山岸会長 いかがでしょうか。削除でも意味が通じるようであれば、議事録として成立するのであれば、そうさせていただきたいと思えます。

ほかは、よろしいでしょうか。

そうしましたら、先ほどの挙手をもって、案ではなくこのとおりのこと進めていきたいと思えます。ありがとうございます。また追加で何か気づいたことがありましたら、終了までに事務局のほうにお願いいたします。

では、意見・提案シートについて、事務局からお願いいたします。

○事務局 意見・提案シートの御提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

その前に、令和4年度小金井市食育進捗調査結果について、先月、委員の皆様の御指摘に関して、事務局からお願いいたします。

○事務局 先月の続きの前に、先月いただきました御意見についてお知らせいたします。

まず、この資料、進捗状況調査結果の5ページ7番にフードドライブというところがありまして、この回収量について必要がないのではないかという意見があったのですが、ごみ対策課では、ごみを減らすというのが一番の課題で、その1つの方法としてフードドライブがあるということです。

議会報告では、ごみがどのくらい減ったかというのは、燃えるごみ、燃やさないごみ、全てキログラムで報告することが普通なのだそうです。よって、議会報告に倣って、ほかの多くの調査に関しても同じように回答しているということでした。

また、他課から来た回答は、その課が訂正を申し出ない限り、こちらでは受け取った回答はそのまま掲載するようにしております。

それから、回収した食べ物の行方に関しては、社会福祉協議会は全て配布を行っているので、ごみ対

策課の担当ではないそうなのですが、ごみ対策課が社会福祉協議会から聞いている配布先は、生活困窮家庭、それから子ども食堂4件とプレーパークさんということでした。

このことに関しましては、以上です。

それから、その次の食育ホームページの閲覧数ということですが、こちらはすみません、ホームページ委員の雀部さん、お願いします。

○雀部委員 以前、御質問のあったホームページのアクセス数についてなんですけれども、一番直近で、今月はまだ終わっていないので、先月のアクセス数で見ると、2023年10月は1日平均大体35人から40人ぐらいの閲覧がありました。

1人の方がいろいろなページを見ている場合もあるので、人、人数ということでは35から40で、月でいきますと、訪問者としては1,061人。その同じ方が何回も見るということを考えると表示数については、2,521という表示数になりました。だから、お一人の方が、二つ、三つの記事を見ているという可能性もあります。

どんな投稿が見られているかという、ホームページ自体の検索が一番多いのですけれども、そのほかに、過去のアーカイブで記事にはなっているんですが、6つの「こ食」という言葉がありますけれども、その「こ食」のそれぞれの説明をしている部分、例えば、一番10月のもので多かったのは、固いという字に食と書いて、固いは中が古いという字です。くにがまえ、中が古いで「固食」。それで、この「こ」という部分がいろいろ変わって、今、食の中で問題になっていることということで、食育の言葉で取り上げられているものなんですけれども、その固いという食事の固食。あと、個人の個で「個食」。あと、粉の「粉食」というような言葉についてのそれぞれ説明を見られている方が多かったです。

あとは、私たち、後ほど、食育ホームページの説明のときにお話ししますが、このチラシに書いてある6つの「きょう食」という、これはこの「きょう食」についてのそれぞれの説明についても御覧になっている方が多かったです。

あと、江戸東京野菜のことですとか、離乳食講習会の日程などを見られている方がいらっしゃいました。ほとんどが日本で見られている。アクセス解析してみると、日本で見られているのが圧倒的に多かったんですけれども、ほかの国としては、アメリカ合衆国、あと台湾、韓国、シンガポールからもアクセスが来ています。これは外国の方が見られているのか、向こうに住まわれている日本人の方が見られているかまでは分かりませんが、ほかの国からもアクセスがあるんだということを改めて私も知りました。

以上です。

○事務局 ありがとうございました。

その次が、栄養個別相談の評価の件です。

確かに、人数だけ見ればCですが、評価基準を見ると事業自体は縮小していないので、Bにしてあります。個別ということから、コロナ禍でも令和4年は中止しておらず、感染対策もして実施いたしました。

令和4年度には、のびのび広場相談も、コロナの間、場所とか回数を減らしていたのですけれども、それを元に戻してきたので、相談をされる方の選択肢が増えて個別が減ったと思われます。

それから、完了食の名前の件については、私自身が持っている離乳食の本が数冊あるのですけれども、ステップ4、幼児食、完了期。全部、それぞれの本は異なり、また、今回それを行うに当たって、他市のも調べさせていただいたのですけれども、「1歳ごはん」とか様々な名前がつけられています。厚労省の授乳、離乳の支援ガイドでは、前期食、中期食、後期食、完了期となっていることから、ほかの私の事業に来る栄養事業従事職員とも相談し、完了食ということにいたしました。

また、ほかの職種、例えば、今、健康課は、事務職、保健師、それから歯科衛生士といえるのですけれども、皆さんにも実施前に全部説明をして、健康課の印刷物というのは前年度末の配布分から次年度分の内容にするのですけれども、そこから全部記載し、小金井市みんな子育て応援ブックにも、新年度分より加筆し全ての印刷物に掲載していることから、このまま名前は変えないで継続していきたいと思っています。

それから、もう一つ、資料公開のときに、傍聴者の記載がある公開資料の一番最初につける書類がないという指摘につきましては、今年度、第1回分から掲載しましたので、そちらはすみません、お手数ですが御確認よろしく願いいたします。

最後に、進捗状況調査の関係で、子育て応援ブックの配布の仕方についてということで、ちょっとすぐ答えられなかったのですが、担当のほうに聞いたのですけれども、子育て応援ブックは母子手帳の発行時、母子手帳の発行時というのは妊娠届を提出するときなんですけれども、その時点で、いろいろお渡しするものの中の一つとして入れてあります。妊娠届の場合は、市民課だけではなくこちら健康課の窓口と2か所で行っております。

また、保健師は、新生児等の訪問の際に持ち歩いて、それを利用しているのと同時に、電話でのお子さん関係の問合せ等のために、うちの課の職員全員にも改訂されるたびに配布されております。

先月の御指摘に関しましては、以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。

今ほど事務局のほうから説明がありましたが、今までの件で、もし何かございましたら、御意見、御発言等お願いしたいと思います。いらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、本日の議題、令和4年度小金井市食育進捗調査結果の先月の続きをお願いいたします。

○事務局 進捗状況調査、A3の資料になります。

今回は、その10ページからになります。10ページにつきましては、1番から10番全て小金井の公立保育園の食育についてになります。

こちらに関しましては、健康課と一番関係のあるところは、9番と10番で、まず9番、向こうの栄養士の人とたちと私と顔合わせみたいな会を1年に2回行って情報交換等をしております。

また10番のところで、園ごとにおすすめレシピを紹介していると書いてあるのですが、そのおすすめレシピをもらって、皆さんが入ってくる入口のところに、あとは2階の栄養相談室前にも置いて、保護者の方にお持ちになっていただいております。

また、内容によっては栄養相談時に高齢者の方に紹介することもあります。内容としては、その前後にある離乳食とかではなくて、例えば、お母さんが帰ってきたときに短い時間で早くできるとか、上手に手抜きをして作れる〇〇とかというようなメニューを載せたりしているので、一人暮らしの方とかにも差上げると喜んでいただけるような形になっております。

献立表に、公立保育園の献立表を離乳食、移行食、普通食としていただいております、それも栄養室のほうに貼ってあるので、例えば、今日みたいな健診のときには、そこを必ず通っていくので、みんな見ていらっしゃったりとか、あとは置いてある献立表を持っていってくださったりとかしているような形になっております。

以上です。

何かここまでである方はいらっしゃいますか。

○山岸会長 ここまでで、何か御質問等ございますでしょうか。

では、引き続きお願いいたします。

○事務局 次は、11ページです。

こちらは、児童青少年課になります。児童青少年課のほうは、例えば、児童館だったり、あとは、学童保育なんかを管轄している課なんですけれども、子育て相談会、乳幼児の食事会についてということで、このような内容で回答していただいております。

雀部委員が、児童館のほうで離乳食教室を行っているということなので、もし何かありましたら、お話をお願いいたします。

○雀部委員 子育て相談会の、児童館のうちの東児童館、貫井南児童館、緑児童館は、私が講師として

15年ほど務めているのですが、数年ぶりに完全に調理実習付きの講習会ということで、コロナ前に一応戻りました。コロナ中は調理ができなくて相談会しかできなかったのも、やっぱり作って食べて、どういう状態であるか見るということが大事だと思ったので、完全に元に戻ってよかったなというふうに思っています。一応、調理のときだけはマスクをするというふうな、今年度はそういうルールになっておりますけれども、それも少し落ち着いてくると多分なくなってくるのかなという状況です。

それから、おたよりで、乳幼児食事会のほうは、主に、お誕生会の食事を毎月1品なんですけれども作って、たよりのほうに作り方を載せてあるので、おうちに帰ってからも作れるというメニューも、実際、私が作って皆さんに提供するという形で完全に復活いたしました。コロナ禍前のやり方に戻りましたので、やっと日常になったかなという気がします。

以上です。

○事務局 ありがとうございます。

何か質問とかある方はいらっしゃいますか。

○山岸会長 何かございますか。

すみません、私のほうから。15年間ずっと講師としてやっていたらどうですか？

○雀部委員 そうですね、はい。

○山岸会長 何かこう、年々こういう状況が変わってきたとか何か感じられたことがありましたら、お聞かせいただけますか。

○雀部委員 小金井は、私が始めた頃は、専業主婦の方の御参加が一番多かったんですけども、近年は、保育園に行くために育休・産休を取られている方、または、お父様の参加もあつたりとかも、少人数ですけども、そういう参加もあつたりですとかということもありましたし、子育て相談会も、親が共働きで働いていることによって、おばあちゃんが相談に来るといったことも過去にありました。どなたにでも広く開かれているところなので、どんどん利用していただきたいなというふうに思います。

あと、お悩みを聞くと、すごく最近ちょっと困るなというのが、保育園のほうでも、食材をリスクを取りたくないのも、あらかじめこれだけの食材にアレルギーがあつたり異変がないかどうか調べてきてくださいという食材がばつと一気に載った表をもらうらしいんです。私もその表は実際には見ていないんですけども、それを試すのがまず保育園に行く前に苦痛だという話を聞いて、昔はそんな話は聞いたことがなかったなと思うんですが、やっぱりいろいろな社会問題になつたりしていることも、なきにしもあらずなので、致し方ない部分もあるんですが、真冬なのにスイカを試してくださいとか、ちょっとむちゃぶりの、高くてもちょっと買うのにちゅうちょするんですけども、これは試さなくてはいけませんかみたいな、実質的なお話ではそういうこともありました。



だから、なかなかお母さんたちもちょっと急な中で、伸び伸びとなかなか子育てできないシーンもあったりしているようです。

○山岸会長 貴重な御意見ありがとうございます。そうですね。食物アレルギーはやっぱり入ってから食事の状況によって除去したりということが、情報提供したりということで大変なので、事前にということなんですね。

○雀部委員 そうです、はい。

○山岸会長 ありがとうございます。

すみません。私のほうから質問してしまいましたが、ほかに委員さんのほうからよろしいでしょうか。では、引き続きお願いいたします。

○事務局 今回の雀部さんの保育園の表の件ですけれども、うちも2月、3月になると同じことがありました。ちょっと保育園の方ともお話ししたときに、例えば、スイカとかメロンみたいなものは、その季節に出そうな前に試していただければいいんですよということを保育園の方から聞いたのですけれども、なかなかお母さん自身は初めて決まったところで、なかなか聞きにくいというのが、ほんとうのところなのかというふうに思いました。

○雀部委員 そうみたいですね。せめて、括弧ぐらいしてくれたら気持ち的に違うかなと思うのですけれども。

○山岸会長 なるほど。ありがとうございます。

○事務局 その次が12ページです。12ページにつきましては小学校、内容的には小学校。それから、その先の14ページも全く同じ項目で中学校ということにもなります。そこに小学校のほう、12ページの48番、栄養講習会（親子クッキング教室）というのがあるのですけれども、こちらは健康課と学務課の合同事業です。学校の栄養士の方に来てもらって、小学生のいる親子に来ていただきまして、そこで地場野菜の件だったりとかいろいろなお話をするのですけれども、もしよかったら長谷川委員が関わったことがあるので、簡単にお話をしていただけたらと思います。

○長谷川委員 夏休みを利用して、小金井市内在住の親子の皆様にご参加いただいて、親子クッキングという教室を開かせていただいています。主に地場野菜の活用と、給食で人気のあるメニューを親子で作ってみようというところで、健康課さんと一緒にやらせていただいています。

ほんとうに、私がやったときは、小学校3、4年生で、私は、次の年からはサブで参加させていたっているのですけれども、初めて包丁を使うような子もいれば、もうお手伝いで慣れているみたいな子供もいるのですけれども、やっぱりもぎたての野菜に触れるという経験が小金井市の子は他地域よりも結構あるのかなと思います。

こういった形なんだよということで驚くような子もあまりいなくて、やっぱり自然の中で地場野菜の農家さんの様子とかも、登校しながら見ながら、野菜に触れ合うことに慣れている子供さんが多いのかなというのが少し感想としてありました。

その中でも、やっぱり夏なので、夏季の野菜、ナスとかトマトとか、ちょっと子供の苦手なものも使わうんですけども、自分で切る、自分で調理する、それを保護者の方と一緒に食べるというところでも、得意満面になって、嫌いだったものでも今日食べられたよという形で、すごくいい機会になったかなと思います。保護者の方と御一緒なので、包丁を使うときも一緒に協力してやれるので、今後、機会を増やしていきたいなと思っております。こんな形で……。

○山岸会長 ありがとうございます。

何か委員のほうから、御質問どうぞ。

○妹尾委員 給食を通じた食育、上から2番目の45番です。よろしいですか。

○山岸会長 どうぞ。

○妹尾委員 全ての評価が、去年度より今年度のほうが上がっているという感じなのに、これだけAからBに下がっているのですが、目立って去年より今年が駄目だった理由というのはどこにあるでしょう。私には読んでもよく理解できないのですが。

○松嶋副会長 すみません。臆測での発言なのですがすけれども、よろしいでしょうか。多分、前年度がAになったのは、コロナで中止されていたものが再開したとかそういうようなことでAに転じて、それがまた同じような事業をしているということでBになっているようなことがあるのではないかというふう  
に推察……。

○妹尾委員 同じならAでいいような気もしないでもない、素人的には。

○松嶋副会長 Aというのは、前年度よりも進歩したというような相対的な指針なのではないかなと思  
っていて……。

○妹尾委員 そうですか。ほかのところ結構後退しているかなというところも全て評価が上がっている  
ので下げる必要があるのかな。

○松嶋副会長 そうですね。その辺は、多分、課によつての判断だと思うのですが、指針としてそうい  
う傾向があるのではないかなというふうに、私もほかのも見ていて思ったので、臆測で申し訳ありませ  
ん。いかがでしょう。

○妹尾委員 ありがとうございます。

○事務局 一応、評価で、前年度同様になるとBというふうになっているので、それだと思  
うのですけれども。

- 山岸会長 これは、学務課のほうからこのような評価で来たという理解ですね。
- 事務局 これは、指導室ですね。
- 山岸会長 失礼いたしました。指導室のほうから。
- 事務局 多分リーフレットは予算も関わっていて、毎年できるものではないので、そういうものも作ったからということで、その前の年がAになって、Bも配布はしたんだと思うんですけども、前年と同じだったから、前年と同じだと評価Bということなので、Bにされたんだと思います。
- 山岸会長 なるほど。評価方法ということで、このようになったということですね。
- 太田委員 個人的興味で申し訳ないのですが。
- 山岸会長 どうぞ。
- 太田委員 給食で今人気とはどんなものですか。
- 長谷川委員 給食で人気のもの、定番でいくとカレーがやっぱりすごく人気があって、カレーもオーソドックスなカレーいわゆるポークカレーから、世界のメニューというところでインドのスパイスカレーであったり、あと、ちょっとフンドボーを使ったヨーロッパアンカレーであったり。
- 太田委員 給食で。
- 長谷川委員 はい。ちょっと地場野菜とコラボしながらトマトいっぱいトマトカレーであったり、カレーはやっぱり定番の人気で、あとは、揚げギョーザがやはりすごく人気ですかね。揚げギョーザとかにシイタケが入っていても全然食べられるというお子さんが多いし、野菜とコラボしながら人気メニューと掛け合わせて、小金井野菜だよと言うと、またそれで人気がパーンと跳ね上がったたりもするので、まずはカレー、いろいろなバリエーションのカレー。あとは、揚げギョーザとか。おでんなんかも結構人気です。大蔵大根を使ったおでんなんか。
- 太田委員 ありがとうございます。
- 松嶋副会長 1件、補足で、松嶋です。
- 山岸会長 お願いします。
- 松嶋副会長 こちらの3番の地域と交流した食育活動の中の地域の生産者と児童・生徒が交流するということで、児童・生徒ではないのですが、先日、みんなの給食委員会という保護者の団体の方から以前相談されまして、地域の生産者さんとの給食の関わりの話を聞きたいということで、最初、私に、農業委員をしているのでというお話だったのですが、実際、この前に食育推進委員だった萩原さんを推薦させていただきまして、萩原さんと御登壇いただいて、このジャガイモは私が作りましたみたいなタイトルで、保護者の皆さん、そして学務の方も、市長、教育長、皆さん。あと、関係者の方がいらしてお話を伺い交流することがありました。

そこでやっぱり給食に出すその課題であったりとか、今後の展望ということでお話をさせていただいて、今後、今ちょっとコロナ禍であれなんですけども、農業者の方が学校に入って一緒に給食を食べる機会も持てたらいいというようなことであったり、給食に地場野菜を使ってもらっているのが、今、多分14%とか、ちょっとコロナで前後しているんですが、それを20%、30%にしていくために、今後とも連携していこうというお話があって、こちらのお話と多分ちょっと関係があると思って、御紹介させていただくのですが、そのような形で、今後も生産者さん、あと栄養士さん、調理師さん、学校、保護者の連携を含めていくようなことができればいいなと思ったことがありました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、お願いいたします。

○事務局 次は13ページで、こちらは学童保育所と児童館になります。何かこちらで御意見のある方いらっしゃいますか。

○山岸会長 お願いいたします。

○雀部委員 児童館のほうのエコクッキングのほうで関わりがあるので、緑児童館で8月に小学生対象でエコクッキングを行いました。

無駄のない野菜の切り方ですとか、エネルギーも無駄のない使い方というのを学ぶために、夏野菜の地場野菜を使った夏野菜のピザ作りをしました。

例えば、ナスのへたも子供にそのまま切らせると、一番へたがついている先端のほうからバスッと切ってしまうのですが、へたの部分はちょっととげがあるので気をつけなければいけないんですが、へたの部分をぐるりとむけば、かなりぎりぎりのところまで色がついていないところまで食べられるというふうなお話をすると、多分子供たちがびっくりしたのと、その話を聞いてきた方が、小学生の子供が、実は料理教室の生徒さんの娘さんでたまたま参加していたんですけども、料理教室がその次の月にあった、自宅で料理教室をしているのですけれども、料理教室でそのお母さんがその切り方を知らなかったので、子供から勉強になりましたという話をしていたので、すぐ家に帰って反応があったのかなという意味ではよかったなというふうに思います。ピザも喜んで好きなように飾りつけて食べていました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 ほかにある方、いらっしゃいますか。

○山岸会長 ほかはよろしいでしょうか。

では、次のほうにお願いします。

○事務局 14ページ、中学校のほうになりますが、小学校とほとんど項目は同じです。こちらは55番だけが違って、一応ここはほとんど中学生ですが、青少年ということでなかなかあの年代の方は朝御飯が抜けていたりとかそういうこともあるので、きちんと3食を食べてくださいみたいなチラシを成人式で配布できるように750枚用意いたしました。こちらは、成人式のほうで配布しております。

来年度については、多摩府中保健所にて、制作中の朝御飯についてのパンフレットを配布する予定であると書いてあるのですが、多分これはもう間に合わないのではないです。今日、保健所の松本委員がおいでにはなっていないのですが、若い世代に朝御飯を食べましょうというビデオを保健所のほうで作ってありまして、大学生向けのものは、東京都のYouTubeのほうにもう既に公開されています。今年度作っているのは大学生ではなくて、対象は新入社員向けみたいな形でもう働いている方です。そういう方向けにそういうビデオを作っています。ごめんなさい、うちのミニパンフレットとはちょっと関係がないところに行ってしまったんですけども、まだそちらは公開されていないんですけども、多分春になればいずれ公開される予定なので、ぜひ御覧になっていただけたらと思います。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

今の報告のほうで、何か委員のほうから御質問等ございますでしょうか。

青年期は、なかなか朝食欠食は問題になっているのですが、逆にアプローチの方法も難しいと思うのですが継続して行っていただければと思います。

○事務局 あとは、今、この23日からなので、もう終わってしまったのですが、若者向けに朝御飯を食べましょうのそういうポスターをCOCOBASのほうに掲載をさせていただきました。やっぱりCOCOBASに掲載するというのも、すごい倍率で5日間くらいしか出すことができないので、多分もう終わったかと思うのですが、一応それと市民掲示板のほうにも貼らせていただきました。市民掲示板はもう少し前から貼っているのですが、もうないかとは思いますが、保健所のキャンペーンということで協力させていただきました。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、続いてお願いいたします。

○事務局 それでは、次15ページです。

こちらから、成人になるのですが、健康課の事業、それから保険年金課になります。最初が、栄養個別相談で、個別相談は離乳食だけではなくて、大人の方も対象にしております。どちらかという病気の方というよりは、ちょっとこういうふうに言われたのだけれども、このところが心配とか、

そのようなことで相談されます。

それから栄養講習会のほうは、こちらのほうで、先日は、薄味に慣れようということで、そういうテーマで、講義とデモンストレーションと試食という形で行いました。

それから、次の健康づくりフォローアップ指導教室というのは、これは栄養だけではなくて、例えば、お医者さん、医師の講義、それから栄養の話もあるのですけれども、保健師さんの話。また、内容によっては、例えば、骨粗しょう症ではなくて、血管若返り教室なんかだったら、ちょっと機械を借りてきて、血管年齢みたいなものが出る機械があるのですけれども、そんなので測ってみたりとか、あとは、体操教室みたいなものもやっております、そういうのを2日間とか、行っている事業です。なかなかコロナ禍のときはできなかつたりしたことも多かったので、人数を減らしたりとか、あと去年は試食がなしだったんですけれども、そういう形で実施することができました。

それから、59番の特定保健指導。こちらは、すみません、健康課ではなくて保険年金課のほうになります。

それから、60番はちょっともうなくて、全て61番に統合したということで、公民館の菜園教室です。

それから、62番が、6024、それから8020運動の推進ということになりますが、こちら、健康課なのですけれども、服部先生によかったらお話ししていただいてもいいですか。

○服部委員 8020運動を皆さんは耳にしたことはあると思いますけれども、これは実は、データを調べて来たのですけれども、1989年に始まっておりまして、20本口の中に自分の歯があれば、少々小さい入れ歯が入っていても、ほぼ問題なくものが食べられるだろうと。それに関連する疾患としては虫歯よりもむしろ高齢者においては歯周疾患のほうが重要だということで、これも記載がありますけれども、節目節目で歯科健診、小金井市でも実施されているわけなんです。

始まった当初、1989年から数年ぐらいは、全国で80歳で20本歯がある人の数というのは10%以下ということで、僕のちょっとはつきりした記憶ではないんですけれども、せいぜい4%か5%だったのではないかなといううっすらとした記憶があります。いずれにしても、非常に少なかったんですけれども、だんだん進んでいきまして、2016年には全国で50%の人がもう既にクリアしている。

もろもろほかの要因もあると思いますけれども、全国的にこういう運動が高齢者の方にも随分周知が広まってきて、例えば、小金井市では、小金井の歯科医師会で8020応援団というのをやっております、80歳で20本ある方には、簡単ですけれども表彰状とちょっとした記念品を贈呈するというようなことも行っております。中には、うちの患者さんでこの年になってこんな賞状がもらえるとは思ってもしなかったと、非常に喜んでいらっしゃる方もいらっしゃる。そういったもろもろが相まって、50%クリア

ということになったかなという気もします。

今もう最近のお子さんも、ここのセンターでの健診等でも、皆さん非常に口の中のことは気を遣っていらっしゃいますから、これから10年、20年たてば、またもっと50%ではなく高い割合でクリアする人が増えてくるかなと、期待も込めてそういう見通しを持っています。

大体以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 私も、内容は全然詳しくはないのですが、例えば、個人栄養相談の方とか、出前講座に行った先で、実は夫婦で今度表彰されるんですよとか結構喜ばれて、わざわざ健康課だと分かる声をかけていらっしゃる方も、今まで私が何年かいた中で何人かいらっしゃったので……。

○服部委員 結構何か、もらうとうれしい。

○事務局 そうですね。周りの皆さんがそれをうらやましがられたりとか……。

○服部委員 同窓会なんかに行くと、こういう自分は20本以上歯があつてというような話をすると周囲の昔の同級生から非常にうらやましがられると、その賞状をもらって喜んでいたおばあちゃんがそんなふうにおっしゃっていました。

○山岸会長 ありがとうございます。すみません。もし差し支えなければ、このパーセントの上昇率はすごい成果だなと思うんですけれども……。

○服部委員 周囲のいろいろな環境、例えば、ちょっと話が長くなってしまいますけれども、昭和36年に国民皆保険が始まって、その年の経済白書に、もはや「戦後」ではないと、経済が上がってきているという。そこから健康保険制度はその前もありましたけれども、日本人全体が何かしらの保険に入りましょうという形でスタートしたのが昭和36年で、それが始まると今度は、比較的、保険証を持って、安易に、ごめんなさい、語弊がありますね。気軽に、歯科医院に通うことができるようになったので、ば一っと押し寄せてこられて、ところがマンパワーが足りなくて歯科医院の数がそんなになくて、3時間待って3分とかという、そういう時代が……。それでは困るので、国がもう歯学部をどんどん作りまして、歯科医も増えてきて、駅前に行けばもう、何々歯科医院なんてずらっとありますから、昨今。そういう意味では、予防衛生指導であるとか処置だとかが、非常に、都会だけではなくて全国的にも広まってきている。そういう時代背景もあるかなと思うんです。

1989年に80歳だった方というのは、逆算すると1909年生まれ、ということは戦前の生まれですよ。終戦直後の大混乱期で、栄養状態が悪いとか、そういった時代に生まれて育ってきている方なので、歯のことなんて構ってはいられない、明日の命がどうなるかというときに青春時代を過ごしてきたような方で、戦後は経済成長、物すごい勢いで働いてきて、だから、もう口のことなんかは気を配

ってられないというような年代の人たち。

それから、30年ぐらいたつと、結構余裕が出てきた世代が80歳になられると思うけれども、そういう時代背景も当然あるかなとは、あると思いますけれども、でも非常に好ましい傾向であるということとは感じられます。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、引き続き事務局のほうから、お願いいたします。

○事務局 ほかに何かある方はいらっしゃいますか。

○山岸会長 ほかにいらっしゃいますか。

○太田委員 よろしいでしょうか。

○山岸会長 はい。

○太田委員 58番の健康づくりフォローアップ指導教室、2日間というお話でしたが、これは全項目を2日間でやられたのですか。

○事務局 全部ではないです。例えば、糖尿病予防教室の場合は、最初、基礎編というのは2日間なのですけれども、その後に復習編というのがあるのです。それは、例えば、栄養は調理実習なんですけれども、それからもう一つ運動というのがあるのですが、それは、ばらばらの日にちになっております。それから、骨粗しょう症とボディメイク教室は、2日間の教室です。

○太田委員 2日間という、どういう感じになるのですか。

○事務局 一つが、お医者さんと保健師さんの話。もう一つが、栄養と運動みたいな形で、一つ1日といいましても半日なんです。要するに1日だとお昼を挟んでしまうので、12時半ぐらいまでというのを2回やって1コースということになります。その半日の中で、大体2つぐらいのお話を入れるというようなやり方です。

○太田委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。では、次は16ページからになります。お願いいたします。

○事務局 次は16ページになります。

こちらは、介護福祉課と健康課の事業です。63の配食サービスというのは、自立生活支援課というところと介護福祉課というところがやっております。配食サービスについては増えているような形です。この年齢の方々が栄養不足にならないようにということで、この配食サービスをやっているのですけれども、年々需要が増えているというふうに聞いております。

それから会食というものもあったのですが、コロナでやはり会食が休止になってしまったので、



余計その便利な配達を利用するのもあるのですけれども、人と一緒に食べることや外に行く機会がちょっと失われることが懸念されるということを知っております。

それから、介護予防・フレイル予防の普及啓発ということで、体操などを介護福祉課がやっておりますが、こちらでは体操会場でいろいろ栄養を取ってくださいねとか運動をしてくださいねというような啓発をしていたのですけれども、4年度は栄養講座を実施したとのことでした。栄養士の方を呼んで、そこで講義をしてもらおうという形でやりましたということでした。

それから、64番のほうにつきましては、高齢者向けのパンフレットを健康課で作成するということがあったのですけれども、すみません、今年度はなかったもので、作成はしておりません。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

17ページも一つずつ、17ページも引き続いて説明をお願いできますか。

○事務局 最後、17ページに移ります。こちらこの食育推進会議、それから食育コーディネータの設置、それから食育推進検討会議、それから大学等との連携推進ということなんですけれども、食育コーディネータの設置というよりは、食育コーディネータの活動とかそういうことについて、もし松嶋委員のほうで何か行われたとかいうことがあったらお話してください。

○松嶋副会長 前回、お話したかもしれないんですが、ほぼ1年ぐらい前になってしまうのですが、一度、中学校、南中学校のほうから、こちらのコーディネータを通してお話があったことがありますが、もともと多分、食育コーディネータがいるということの周知があまりされていないこともあるのと、もう一つ、その件数に関していえば、例えば、今回は引き続きはないんですが、2度目に依頼があるときは、私に直接依頼があったりするので、新規のものしか、多分ここに5件というのが新規のものになっていると思うんです。

だから、その食育に関するお問合わせだったり、いろいろなことはあると思うんですが、依頼自体がそう順々に増えていかないのは、そういったこと。毎回コーディネータのほうにお願いしているというよりは、私に依頼があって、そして、さっきちょっと給食委員会の話もしましたが、本来、そちらのほうから依頼が来れば、萩原さんのほうに、コーディネータのほうから、コーディネータを使ってということになるのかもしれないんですが、私がダイレクトにお願いしてしまったりしているので、そういうことで、なかなかコーディネータの活用がもう一つ伸びていかないのかなという印象があるのですが、でも、これがあることがすごくその新規の方が5件でもあるのは、すごい重要なことだと思っているので、今後とも引き続き周知を含め、見直していきたいなと思います。

○事務局 前に松嶋さんに引き受けていただいたときも、実際にお願いをする日の1年前ぐらいに、う

ちのほうに連絡があってという形で、お話を進めていただいた。

○松嶋副会長 多分その事業を行う予算みたいなのというのは、多分、学校では、かなり、年度の1年前ぐらいに企画をして、その次の年度で予算立てをしてお願いしますということと、その時期もあると思うので、かなり前に、最初にお電話があったときは1年半以上前に、再来年の話なんですけれどもみたいな話で、え、みたいな感じで。だんだん近づいてきて打合わせを密にしているのですが、そういった形で御紹介していきたいと思って、件数としては、ちょっとこの5件とは減っていないかと思うんですが、そういった形で、これを増やしていくにはやっぱり周知が大事なのかなという、食育の機会を求めている方は多くて、私が今、結構長くこの仕事をしているので、私に対するお問合せ自体が多いのですが、わざわざそれをまたコーディネータにお戻しするというのも変な話なので、御紹介できる方は御紹介してしまっているんですが、食育ホームページのほうにも記載がありますし、市役所のホームページにもあると思うので、周知を続けていかれたらいいと思っています。

○事務局 ありがとうございます。

では、ほかの件について、1番の食育推進会議につきましては、令和4年度は、1回目のみ書面開催として、残り3回は実施ということで、全4回開催することができました。

食育コーディネータの設置については、今のお話のとおりです。それからその次の食育推進検討委員会というのは、これは、市役所の内部の組織で、食育に関係ある課、今ここの、計画進捗状況調査の報告を上げた課を中心にできている会議なのですけれども、この会議結果については、それぞれの課に連絡をして、何か委員さんに対して、またこれはこういうことですよという意見がありましたら、一応返してくださいということで、書面でやっております。特にたくさんということにはなかったので、今、これについてはお話をすることはないですけれども、内部の会議で、皆さんの意見について、目を通していただいているということです。

それから最後、大学等との連携推進についてということで、前の会長の南先生中心に作った大学生向けのパンフレットを大学生というか成人向けのパンフレットを現在成人式には配っている状況であります。

また、保健所のほうで、もしまた来年度に向けて配れるものがありましたら、来年度はそれを利用したいなというふうに考えております。

以上になりますけれども、今の4項目で特に何もなければ、これで評価については終わりにしたいと思うのですけれども。

○山岸会長 ありがとうございます。

10ページから全て調査報告のほう、ありがとうございます。

前回は含めまして、今日、発表、報告のほうがありました事業で、もし委員の皆様で関わっているもので補足等あれば、お願いしたいと思います。

また、この後は農業祭についても、報告をお願いしたいと思うのですが、ほかの委員の方で、何か御発言等ありましたら、この機会にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。

そうしたら、農業祭のほうに移りたいと思います。

それでは、次に、今年度の農業祭について、松嶋委員、高橋委員からお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○事務局 すみません。急に振ってしまって。

○高橋委員 農業祭の何について……。

○山岸会長 農業祭の報告で、このようなことをやりましたとか何か状況ですとか、もし……。

○高橋委員 11、12日に宮地楽器ホール等で産業祭りという形の中の農業祭の部分を、私は青壮年部の今、部長をやっています、青壮年部としては絵画コンクールをやらせていただいて、222点かな、の絵を子供たちに出していただきました。その中で表彰式もやり、多々反省点はありましたが、来年以降も、都市農業の農業振興という部分に対して、いろいろ進めていきたいなどは思っております。

農業祭全体としても、いろいろな課題というのが見えてきて、青壮年部としても、こういうことをやったほうがいいのではないかというのは、この前の反省会で提案というかはして、今後よりよい産業祭りですか、になるように尽力してまいりたいと思っております。

○事務局 ありがとうございます。

○山岸会長 では。

○松嶋副会長 私のほうは、農業委員として参加させていただいてまして、野菜の点数が、今年の夏はすごく暑かったので、すごく直前まで生育状況が心配されていましたが、点数も多く見事な野菜が多かったです。あと、果物がすごくいいのがあるなという、個人的に、シャインマスカットが賞を取られていまして、小金井でこんなに見事なシャインマスカットが採れるんだみたいなど個人的には思ったんですが、今年は果樹も結構賞を取られているのが多かったなという印象です。

今年初めて産業祭りということで、野菜の販売はもちろんなのですが、お店の方、飲食店の方がブースを出しておられて、すごく2日とも寒くて、なかなかお天気を見込んで仕込まれた、例えばビールみたいなのというのはちょっと売行きがみたいな話も聞いたり、逆に温かいものはすごく売れていて売切れだったりとか。そんなこともあって、なかなかお天気に左右されるイベントなので、今後、いろいろ産業祭りとしても発展されていくといいのかなと思いました。

あとは、宝船がやっぱり一番人目を引くところなんですけど、ちょっと予定があって撮影できなかったんですけど、できていくところを見ていただくというのが、すごくお子さんたちがこんなふうに着ているんだという声が多かったとか伺って、多分毎年そうだと思うのですが、それが見どころだなというふうに思っていて、出来上がった船の前で写真撮っている方もすごく多かったですし、それもさっき言ったように、同じ形のものを育ててくださる農業者の方がすごく御苦労を今年されていて、白菜が足りないとかいろいろな話を聞いたりとかしたので心配していたのですが、すごく結果的にいいものができて大変好評で、地域の連携で、農家さん、商業者さん、あと観光まちおこし協会さん、いろいろな方が頑張っておられたので、いい農業祭になったなと思いました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

あとは、事務局のほうから農業祭について何かございますでしょうか。

○事務局 農業祭の場所で、私と永井係長で、健康課でマッピングとそれから食育ホームページのチラシとそれから第4次食育計画の簡単に作った手刷りのチラシを500枚配布させていただきました。農業祭のお客さまももう10時前からいらして、そのときにもう品定めをされていて、10時になった途端に皆さん並んで一斉にお買い物をされていて、ああ、すごいなと思いました。

今、高橋さんから食育カレンダーの絵の応募数が222点あったということで、そちらのほうは多分内部でされていたのでちょっと外では見ることはできなかったのですが、今からカレンダーができるのがすごく楽しみです。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 私はこんななのですけども、ほかに皆さん行った方とかいらっしゃいますか。もしあれだったら……。

○山岸会長 どうでしょうか。委員の方で何か、農業祭についてございますでしょうか。

たくさん御意見をありがとうございました。

では、次は、ホームページのほうで、委員のほうからの報告ということで、よろしく願いいたします。雀部委員、よろしく願いいたします。

○雀部委員 皆様のお手元にある、これが新しいチラシです。たくさん配るのは、この間、刷り上がったばかりなので、成人式が一番たくさん何百枚というふうに配るので一番多いかなと思います。やっと私たちもこのチラシを作ることができたという感慨深いものがありまして、それはなぜかという、この6つ「きょう食」という言葉自体が、小金井市の食育ホームページ委員会オリジナルの言葉なんです。ほかにはない言葉なので、先ほど話に出た6つの「こ食」という言葉は、よく広まっている言葉なんです。

すけれども、ネガティブなことばかり言わないでポジティブに少し食を考えていこうというコンセプトの下に考え出された言葉です。

この言葉が実はできたのがコロナ前で、一つずつ言葉について吟味もして、かなり時間をかけてつくったんですが、いかんせん、これを発表しようとしたタイミングでコロナで、数年ぐらい寝かされていた言葉なので、やっとなんとなく日を見えたかなという気がします。

「共食」という言葉は、一つよく知られている言葉なので、ここは最初の取っかかりというんですか、ということで、ほかの残り5つというのは、完全にオリジナルの言葉として、同じ「きょう」という字がつく言葉で、みんなで食を楽しもうというコンセプトの下、考えだされた言葉です。

2番の「協食」は、お手伝いをしたりですか、協力して食に携わることです。食材を育てることもそうですし、あとフードドライブなんかは皆さんの協力なくしてはできないので、そういうことですか、子ども食堂さんですか、そういう活動にも関わってきます。

3番目の教えるの「教食」は、学校での食育ですか、食育事業の中の調理実習での伝わること、あと家庭内の食育なんかもあると思いますけれども、教えることによって、食が繋がっていくという考え方です。

4番目の興味の興という字は、どちらかという学びのほうが大きくて、学校でいろいろ学ぶことも、ごめんなさい。4番目の興味の興の「興食」です。こちらは、興味を持つということなので、座学で学ぶこともそうですし、あと、自然の美しさとか季節の移ろいなんかを表現するのにも、何も食材自体だけではなくて、食卓の表現ですか、器に凝ったりですか、そういうことも関わってくるかなと。外でピクニックをしたりバーベキューをしたりという、食への興味ということで広く捉えています。

5番目のこれはもてなすという字なんですけれども饗応の饗です。もてなす食事ということで、呼んだ側も呼ばれる側も、食について、楽しいコミュニケーションツールとして、食を捉えていただくということで、お酒も入ったりということもありますけれども、ハレの日の食事ですか、パーティーですか、楽しい食の記憶として残るものというふうには捉えています。

6番目の郷土の郷です。これは、何も小金井のことばかりではなくて、東京は様々なところの出身の方が集まる場所ですので、それぞれの郷土料理もそうですし、小金井でいうと、私たちが一つ捉えていて、小金井らしいなと思うのは、関野町のお餅つきの様子なんか、ホームページのほうにちょっと載せたりしていますので、お餅つきがちょっと独特なお餅のつき方をする、御存じの方もいると思うんですけれども、それも一つの食の文化かなと思いますので、この「郷食」をテーマに、今年はつくりました。

だから、後ろのこのちょっと写真が薄く写っている写真が、やっぱりみんなで楽しむという、人数も

それなりにいます。楽しむ食事ということで、今年はこれでいこうと。今回はこれでいこうというふう  
に思っています。

食育ホームページのほうなんですけれども、毎回のレシピ、月1回の更新ですけれども、9月はゴー  
ヤーのカレーいため、10月が冬瓜のおろしあえです。11月がブロッコリーのショウガじょうゆがけ  
というレシピになっています。それぞれ小金井産の野菜を使ったレシピです。もしよかったら、御覧に  
なって作っていただければなというふうに思います。

それから、こちらも月1回の更新なんですけれども、栄養成分表示の活用ということで、活用クイズ  
が毎月1回更新どんどんされていっているのです、こちらのほうは、せっかくなので、太田委員のほうに、  
ちょっと一つ例を挙げていただければなというふうに思います。

○太田委員 栄養成分表示が義務化されて、加工食品にはつけられることになったんですが、それを消  
費者庁なんか盛んに活用してもらおうということで、いろいろな動画とかPRをしているんですけれ  
ども、いかんせん、実際の商品を使う、行政としては使いにくらしく、リアリティーが全然ないので、  
それをクイズ仕立てにして、例えば今は、エネルギーがどっちが高いかということで、例えば、ツナの  
コッペパンと卵のコッペパンとどちらが高いかという、微妙なやつを取り、微妙だけれども、成分表示  
を見るとかなり違うというものを取り上げたりして、リアリティーを持った活用方法を模索して、情報  
発信をしています。

ホームページ自体を見てくれる人が若干少ないので、どこかで火をつけないといけないとは思っ  
ていますが、あとちょっとサーバーの周りのハードウェアの部分でいろいろと障壁がありまして、その辺  
もちょっと改善しなければいけないかなという懸案事項になっております。何か機会があったら、ぜひ  
見てください。御意見等いただければ、また改善のアイデアになってくるかと思うので、よろしく願  
いします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、この「きょう食」、また広めていきたいと思います。ありがとうございます。

それでは、そのほかに委員の皆様で食育事業をされていたり、これからイベント等を企画されたり、  
参加予定の方はいらっしゃいますでしょうか。もし、いらっしゃいましたら、お話しいただければと思  
います。

よろしいでしょうか。

それでは、連絡等もよろしいですか。

では、次回につきまして、事務局よりお願いします。

○事務局 次回につきましては、2月下旬から3月上旬の水曜日の午後2時からを予定しております。  
また、今回の会議録ができましたら、前回同様メールにてお送りいたしますので、ご確認、訂正等よろしくお願いたします。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第3回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。皆様、本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

— 了 —